

防災研究所 集中講義のご案内

以下の日程で集中講義を行います。ご興味のある方はご参加下さい。

岡山大学大学院自然科学研究科 隈元崇准教授
(防災研究所 非常勤講師)

「活断層から発生する地震の危険度評価
—基礎研究と成果の応用—」

日時： 2014年2月21日（金） 10:30 - 17:00

場所： 京都大学防災研究所（宇治地区本館）
（午前） E-517D セミナー室 III
（午後） E-417D セミナー室 II

東北地方太平洋沖地震とそれに関連した福島第一原子力発電所の事故を契機として、その後の原発の耐震安全性の再評価の中で「活断層」は世間の耳目を集めた。そこで、事故後に策定された原子力規制庁の耐震設計審査指針の考え方を理解するために、まずは赤青メガネによるアナグリフ立体画像を用いた地形判読の演習により変動地形を理解するための基礎的事項を解説する。次に、変動地形判読により得られる活断層データから、地震の発生確率と地震の規模を推定する評価手法とその不確かさについて、演習を交えて解説する。その上で、原子力発電所周辺の活断層の存否の認定に関する最近の議論について、審査指針を読み解きながら問題の所在を検討する。

10:30～12:00：地形の空中写真判読と活断層の認定

13:30～15:00：地震の発生確率と規模予測における不確かさの評価

15:30～17:00：活断層研究からみた耐震設計審査指針

連絡先： 京都大学防災研究所地震災害研究部門

岩田知孝 電話 0774-38-4057, iwata@egmdpri01.dpri.kyoto-u.ac.jp